

入札結果については、常に閲覧できる体制をつくり、これをもって公表と考えている。

廃棄物処理

有害な水銀を含んだ廃棄物の処理について伺いたい。

県下32市町村が収集を実施しているが、保管場所・その後の処理に困っている。その中の代表市町村で検討委員会をつくり、処理方法・処理場を協議中なので、その結果により、これに参画したい。

排水計画

既設の排水構に対する住民の管理意識及び指導はどうか。今後の排水工事計画は、どのように進めていくのか。

常日頃の管理が大事なので、受益者個々に管理して頂くよう、有線、広報でお願いしていく。

昨年モデル的な排水計画を示したが、受益者の負担が必要なので、話し合いがつき次第、国の補助を得て推進したい。

農振計画の見直し

前議会では、60年度中には見直し作業に入りたいとの答弁があったが、その後の進行状況

を伺いたい。

農振計画の見直しの必要性については、「都市計画の策定の過程で、双方の計画のバランスを失しないよう協議するのが適当」との農政審議会の答申を得ている。更に60・61年の2年にかけて、全体の見直しを前提とした農業農村整備計画の策定市町村の指定をうけるべく検討中だ。



時代の推移と共に農振区域の見直しが迫られている

保育園児の送迎

園児の送迎の際、保母が送迎バスの中で見送りをしているのを見かけた。どのような指導をしているのか。

送迎バスの付添いとしての保母の役割は、大変重大です。痛ましい事故を絶対起こさないために、適切な行動をとるよう

厳重に注意している。更に指導を強化し、より良い保育に努力する。

町財政と補助金

国の財政再建に伴い、補助金の一括削減法が成立したが、町へ及ぼす影響は、今後もあるのではないか。

影響を受けるものは、建設関係で千三百六十万、教育関係で百五十万、保育所関係の六百五十万、県と町が折半負担なので、合計千八百十萬の補助金が削減される。教育費・保育費は当初予算で見込んでいるので、今回補正に出た建設関係について、予算面で影響が出ている。

町内業者の育成

備品・消耗品・原材料の調達はどうに行われているか。町内業者に優先的な配慮がなされているか。

物品については、特殊なものを除いて町内業者から購入することを大原則として、それぞれ調達している。

モデル事業の現状と見直し

56年度にスタートした農村総合整備モデル事業は5年経過

したが、現在までの進捗状況と今後の見直しについて伺いたい。

56年度に10年、十六億三千四百万の事業認定をうけたが、指定町村のみ増やしたために、町村配分は年々削減される一方だ。現在までの5年間で全体の16パーセント、二億六千万の予算しかつかない。この分だと将来計画が大幅に遅くなると予想される。本年度は五千五百万の予算で、3カ所の排水整備等が行われる。

文化行政の推進

郡内で初の文化会館を建てたが、文化行政には、どの程度力を入れているか。

文化会館は中央公民館が手狭となつて諸会合等に不便をきたしたために建てられたもので、



大きな期待が寄せられている文化会館として建てられた町民文化センター

便利さを求めた意味暖か強いと思う。現状でも相当数の事業をこなしているが、今後運営審議会等の意見を聞き、尚一層適切に運用をしていきたい。

資料館の建設

農具・漁具などを収集・展示する資料館を建設する考えはないか。

47年に制定された文化財保護条例に基づき、町内に分布する文化財の台帳整備がなされたが、資料館は建設されずに終わった。58年に当時の資料をもとに調査が再開された。資料館の建設が望まれるところだが、用地・建設費の問題、さらにその後の維持管理の問題で検討中だ。

国旗の掲揚

合併30周年の記念品として国旗が全戸に配布されたが、掲揚されているか。数多く掲揚されるよう働きかけているか。

年間12日ある祝祭日には、国を象徴する国旗を1軒でも多く掲げてもらいたく、祝祭日の前日には、有線で掲揚を呼びかけている。配布後は、以前より掲げる人が増えているのは事実だが、今後とも会議等機会ある毎に国旗の掲揚を訴えていく。